

令和8年度東京都プラチナナース就業継続支援事業について

1 目的

定年退職前後の看護職員が、定年後もそのキャリアを継続し、様々な職場で能力を発揮することができるよう、退職前からその後のライフプランを考え、多様な職場を知る機会を提供することにより、経験豊富な看護職員の潜在化を防止するとともに、定着・再就業の促進を図る。

2 プラチナナースセミナー

今後のライフプランに関する情報提供や定年後も看護職として活躍することを啓発する内容のセミナーを開催する。

- (1) 対象者
都内の病院・施設に勤務または就業を希望している概ね 50 歳以上の看護職
- (2) 開催方式
対面及びオンラインにて行う。
- (3) 開催回数及び定員数
年 4 回開催し、定員は各回 180 名とする。(オンラインによる参加も受け付ける。)
- (4) 申込方法
公益社団法人東京都看護協会東京都ナースプラザ（以下、「東京都ナースプラザ」という。）のホームページによる申込とする。

3 施設管理者セミナー

プラチナナースの活用方法や雇用における環境整備の必要性を紹介し、プラチナナースの採用・就業継続を促進する内容のセミナーを開催する。

- (1) 対象者
都内の病院や有床診療所、高齢者施設、訪問看護ステーション等の管理者・看護管理者及び人事労務担当者
- (2) 開催方式
対面及びオンラインにて行う。
- (3) 開催回数及び定員数
年 2 回開催し、定員は各回 80 名とする。(オンラインによる参加も受け付ける。)
- (4) 申込方法
東京都ナースプラザのホームページによる申込とする。

4 職場体験会 ※別紙参照

プラチナナース世代による就業希望の多い高齢者施設や病院等において、看護業務の体験会を開催する。受入れ先の職場体験会実施施設（以下、「実施施設」という。）は、東京都ナースプラザから派遣するプラチナナース支援係員と連携して体験者の受入れを実施する。

- (1) 対象者
都内の病院・施設に勤務または就業を希望する 50 歳以上の看護職
- (2) 申込方法
東京都ナースプラザのホームページによる申込とする。

(裏面へ続く)

(3) 開催回数、開催期間及び受け入れ人数

開催期間を年4回に分け、開催する。

実施施設は第1回から第3回のうち、いずれか1回で開催し、原則3名を受け入れる。希望する施設のうち、選定された施設は第4回にて追加開催を行う。

(4) 実施施設の要件

公募にて実施施設を募集し、年間実施施設24施設を選定、開催を依頼する。実施施設は以下の要件を満たしていることとする。(施設種別が病院の場合については、エ又はオのいずれかも満たしていること。)

ア 当該施設において、50代以上の看護師が勤務していること。

イ 当該施設の運営を3年間以上行っていること。

ウ 直近3年間に外部監査からの指導や改善命令が入っていないこと。

エ プラチナナースのいる部署での職場体験、またはプラチナナースとの交流ができる体験内容を計画できること。

オ 病院以外の法人内施設(高齢者施設等)を、体験会同日に見学または体験できること。

(5) 事業実施に係る事務

ア 協定の締結

東京都ナースプラザが「実施施設」を指定した後、実施施設は、東京都ナースプラザと「東京都プラチナナース就業継続支援事業に係る職場体験会実施についての協定」を締結する。

イ 研修資料の作成

実施施設は、体験者に向けて、当該施設の看護師の業務の流れを説明するための研修資料を作成する。

ウ 保険加入手続

不測の事態に備え、体験者は保険に加入する。

東京都ナースプラザが一括して加入手続を行い、経費も支払う。

エ 実績報告

実施施設は、東京都ナースプラザへ実績報告書、経費請求書等を提出する。

オ 経費の支払

東京都ナースプラザは、実施施設から提出された書類を審査し、協定書に定める支払基準に基づき、経費を支払う。

① 受入謝礼：体験者の受入・指導に係る謝礼

② 管理費：研修資料の作成・連絡調整などの業務費、体験実施に必要な消耗品費

5 プラチナナース就職相談会

60歳以上の看護職就業を歓迎する(60歳以上の看護職の採用が可能な求人票をeナースセンターに登録している)、病院、診療所、高齢者施設及び訪問看護ステーション等の採用担当者と、求職者または定年退職後の就業先を検討する就業者を集め、就職相談会を開催する。

なお、東京都ナースプラザのバンク係が主催する「ふれあいナースバンク就職相談会」内で実施する。